

REGARD



山崎俊生と

心象の世界

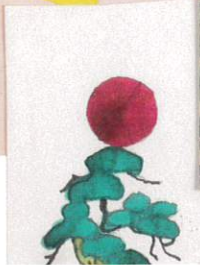
# ルガール

2024年1月16日(火) — 3月24日(日)

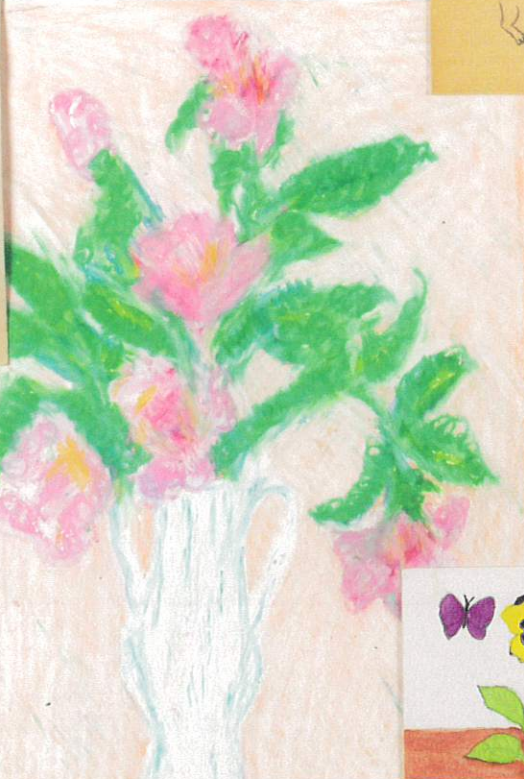
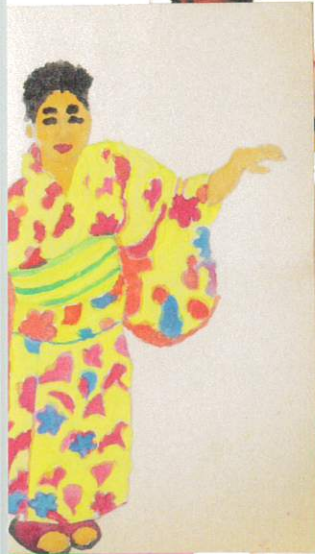
10:00 — 18:00 月曜定休・入場無料



art space co-jin



主催: art space co-jin(きょうと障害者文化芸術推進機構)事務局: 京都府健康福祉部 障害者支援課  
協力: ルガール社、京都府立洛南病院、一般財団法人 たんぽの家(障害とアートの相談室)  
広報デザイン: タナカタツヤ



REGARD

YAMASAKI Toshio  
and Images of the Inner World



山崎俊生

ルガール



# ルガール

2024年1月16日(火) — 3月24日(日)  
10:00 — 18:00 月曜定休・入場無料

山崎俊生と

心象  
の  
世界

REGARD YAMASAKI Toshio and Images of the Inner World

**京**都市伏見区御香宮神社のすぐそばに、ルガール社という名前の小さな出版社がありました。社主を務めていた山崎俊生は、32歳の時にこの出版社を立ち上げました。社名の「ルガール」はフランス語の「regard」を指し、日本語では「まなざし」と訳されます。山崎はこの言葉を「人間一人一人へのまなざしを大切に」という意味を込めて用いていたそうです。この言葉とその想いの始まりは、20代の終わりに同郷の親友である久保紘章と作成した同人誌に込めたことがきっかけでした。

1971年5月のある日、山崎は京都府立洛南病院を訪れました。精神疾患の治療を受けている方々と交流したのちに、当時の院長と話をする機会がありました。そこで山崎は「彼らには何かを表現する時間が必要なのではないか」と話を持ちかけました。院長より「それでは君は何かできるか?」と問われ、家業の映画館で少年期より看板の絵を描いていた経験から「絵ならばお世話ができる」と伝え、院長はすぐさま館内放送で絵画教室への参加を募るアナウンスをし、ほどなく絵画教室を開催することになりました。

以後、山崎は2013年までの42年間、毎週金曜日の絵画教室の講師を務めました。患者たちが制作した絵画は膨大な量となり、それらの絵画は1981年から「心象展」と題したグループ展にて定期的に発表され、1996年には「画集 心象の世界」にまとめられルガール社より出版されました。

そして2021年、山崎は80歳でその生涯を閉じました。膨大な絵画は洛南病院内の今は使われていない病棟の一室にあり、古いものでは70年代から保管されたままの絵画も深い眠りについていました。

本展では、洛南病院に眠る絵画を少しでも目覚めさせる機会として、山崎俊生の生涯とともにご紹介をいたします。山崎が一人一人の心に丁寧に向けていたまなざしを感じていただけましたら幸いです。



第1回心象展 開催(1981年7月9日-12日)画廊と一瞥にて

プロフィール Profile

山崎俊生

- 1940年 高知県出身、映画館を営む家庭に育つ
- 1961年 四国学院大学入学、社会福祉等を学ぶ
- 1965年 同人誌「足跡」を香川県にて親友の久保紘章と刊行
- 1966年 四国学院大学卒業後京都へ移り住む  
京都大学にて教育哲学、西洋哲学を学ぶ
- 1969年 同人誌「ルガール」を京都市にて久保紘章と刊行
- 1970年 同志社大学大学院入学  
神学・宗教心理学・精神医学などを学ぶ
- 1971年 京都府立洛南病院にて、絵画教室を始める
- 1972年 出版社ルガール社設立
- 2021年 永眠(享年80歳)

art space co-jin

きょうと障害者文化芸術推進機構  
(事務局・京都府健康福祉部障害者支援課)  
〒602-0853  
京都市上京区河原町通荒神口上ル  
宮垣町83 レ・フレール1階  
Tel & Fax : 050-1110-7655  
Mail : info@co-jin.jp  
URL : https://co-jin.jp  
X (旧Twitter) : @artspacecojin  
Facebook : @artspacecojin  
Instagram : @artspacecojin

